

# 札幌の川 — 失われた川を尋ねて —

北大から桑園にかけて流れていたコトニ川の諸川は、大正時代から1951年頃までに涸れて失われた。コトニ（凹地になっている所の意）は湧泉がつくった川の地形を表すアイヌ語地名だった。開拓使時代以降の写真や絵画、残された自然地形に、失われた古き札幌を尋ねてみましょう。札幌の原風景を脳裏に刻むことができますよ！



先着30名  
参加無料

日時

2021年 6月26日(土) 13:30~15:00

会場

札幌市資料館2F 研修室 (中央区大通西13丁目)

講師

宮坂 省吾(みやさか せいご)氏

1943年長野県生まれ。札幌南高卒。北大大学院理学研究科修士課程修了・理学博士。株式会社アイピー(地質情報室)。主な著書：『札幌の自然を歩く(第3版)』『揺れ動く大地 プレートと北海道』『札幌の地名がわかる本』(いずれも共著)

お申込み  
お問合せ

札幌市資料館 (旧札幌控訴院)

【TEL】(011) 251-0731

【FAX】(011) 271-5921

【HP】 [www.s-shiryokan.jp](http://www.s-shiryokan.jp)

参加お申込みはTEL・FAX・HP応募ボタンより、行事名・氏名(ふりがな)・住所・電話番号をお知らせください。  
※受付期間：5/11(火)~6/19(土) 9:00~17:00  
※定員に達し次第締切



新型コロナウイルスの感染拡大状況により、イベントを延期または中止とする場合があります。また、ご来館の際はマスク着用、手指消毒等の感染症対策にご協力ください。



～札幌市資料館(旧札幌控訴院)について～

札幌市資料館は、1926(大正15)年に札幌控訴院として完成した歴史的建造物です。札幌軟石を使用した建物としては現存最大級で、国の重要文化財に指定されています。